

■どの方法でチューニング項目を選定するか■


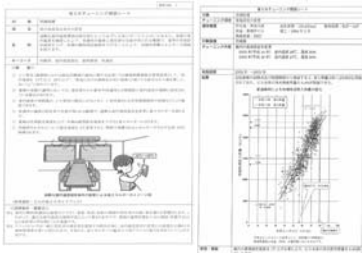
このガイドブックにはチューニング項目を選定する方法が複数掲載されている。自分で好みの方法を用いてチューニング項目の選択に活用されたい。

また、これらの表には本来の使い方以外に、計画書や報告書の見直しに使用したり、故障の診断に使用できる表もあるので、様々な応用ができる。

5. 4 チューニング項目案（候補）選定

この節では、5.3 で述べたチューニング項目案（候補）選定方法を用いて、実際にチューニング項目を選定する過程について解説します。

表 5.4.1 チューニング項目案（候補）の選定

● チューニング項目案（候補）の選定。	
<p><b>6月◇日</b> 表やフローシートを見ているうちに、だんだん要点が絞られてきて、次の3つに注目することにした。</p> <p>1)まず <b>24時間トレンドグラフ</b>で、朝にピークがあることがわかったので朝のピークの原因と対策を考える。</p> <p>2)次に、<b>ビル管法</b> →のデータも調べたらCO<sub>2</sub>が500ppm以下というデータがいくつもあって、どうも外気が多過ぎるようだ。→いまは全館禁煙だけど、喫煙OK時代に作られたビルなので、<b>タバコ排気分の外気</b>が多いのかも。</p> <p>3)また、冷房期の終わり頃でも、エネルギーが盛夏とほぼ同じ。外気温も調べたが、厳しい残暑というわけでも無いので、工夫の余地がありそうだ。</p> <p>この条件に合うチューニング項目を探してみよう。</p>	 <p>→ <b>ビル管法</b> 建築物における衛生的環境の確保に関する法律</p> <p>他にはボイラの点検記録も役に立つ</p>
<p>ガイドブックには「<b>省エネチューニング項目</b>」という表がある。このガイドブックに載っているチューニング項目の一覧のようだ。「省エネチューニング事例シート」に対応しているらしい。さっきも同じシートがあったような・・・。</p> <p>あっ、前の方は「<b>～解説シート</b>」（左）で後ろの方は「<b>～事例シート</b>」（右）だ。解説シートは教科書で、事例シートは体験レポートなんだ。「解説シート」は実施の方法が細かく書いてあり、「事例シート」は建物の規模や条件がわかるので「〇〇という省エネ対策を実施すれば、電力の〇〇%を削減できる」という達成見込みが立てられる。この「事例シート」は実例なので、末尾に添付すれば計画書も説得力が増すかな。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネチューニング「解説」シート</li> <li>・省エネチューニング「事例」シート</li> </ul>
<p><b>6月×日</b> もう一度ガイドブックのチューニング項目案（候補）選定法の表やフローシートを見直して、解説シートや事例シートを選択してみた。</p> <p>チューニングの手法としてはとりあえず「外気量のダンパによる削減」、「起動時の外気取り入れ制御」、「冷水出口温度の変更」この3つをやってみることにした。3つチューニングしたら3%削減できるかな？</p>	
<p>■複数の項目を実施する場合■</p>	<p>例えば3つの項目を実施する場合、それぞれの省エネ項目のエネルギー削減量の合計値が、3つの項目を実施した場合のエネルギー削減量と同じではない。選んだ項目によっては、効果を減殺する可能性がある。これは原単位管理ツールによるシミュレーションでも同じである。</p>